

「家族(家庭)」に関する調査レポート
第16回 収入について



このコンテンツでは、不二家ファミリー文化研究所が独自に行った、さまざまなアンケート調査の結果を、毎月皆さんにお届けしています。

今回不二家ファミリー文化研究所が行ったのは、全国の20代～60代の既婚女性188名を対象とした「家族(家庭)」に関するアンケート。

第16回は、「収入」についてです。

Q 今現在、働いていますか？

まずは、今回の調査対象である主婦の方々の中で、働いている方がどれくらいいるのかを調査しました。

「今現在、働いていますか？」という質問をしたところ、全体の約4割の方が「働いている」ということがわかりました。



また、こちらの結果を「子供あり」、「子供なし」で分けてみると、「子供あり」に比べて、「子供なし」の方では働いている方の割合が多く、結果に差が出るということがわかりました。

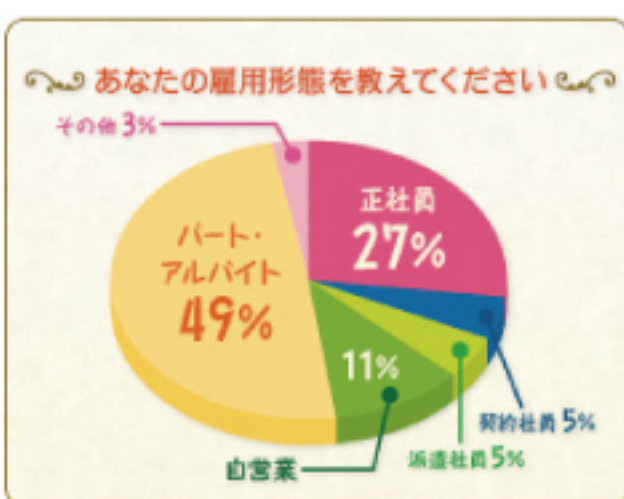


Q (働いている方)あなたの雇用形態は何ですか？

次に、「今現在、働いている」方に雇用形態を聞いてみました。

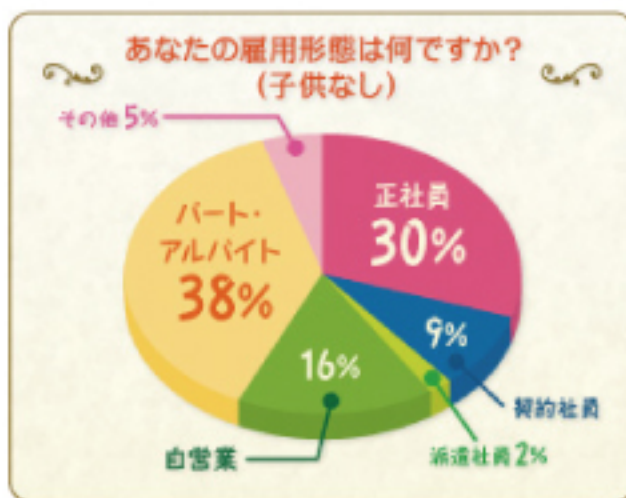
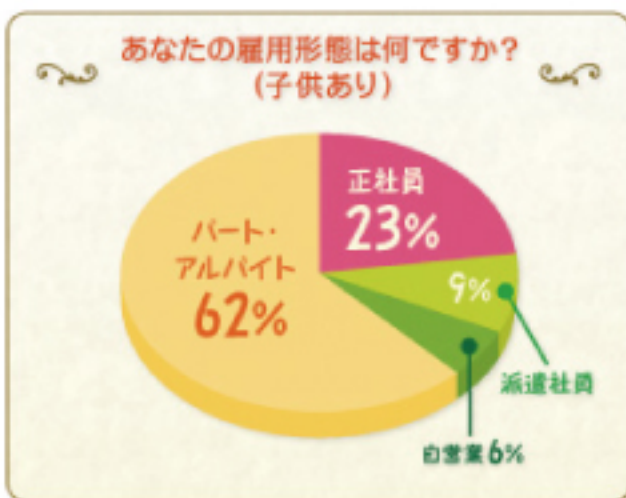
1番多かったのは、「パート・アルバイト」という回答で、全体の約半数を占める結果となりました。

また、こちらの結果も「子供あり」、「子供なし」で分けてみたところ、それぞれの割合に差が生じていました。



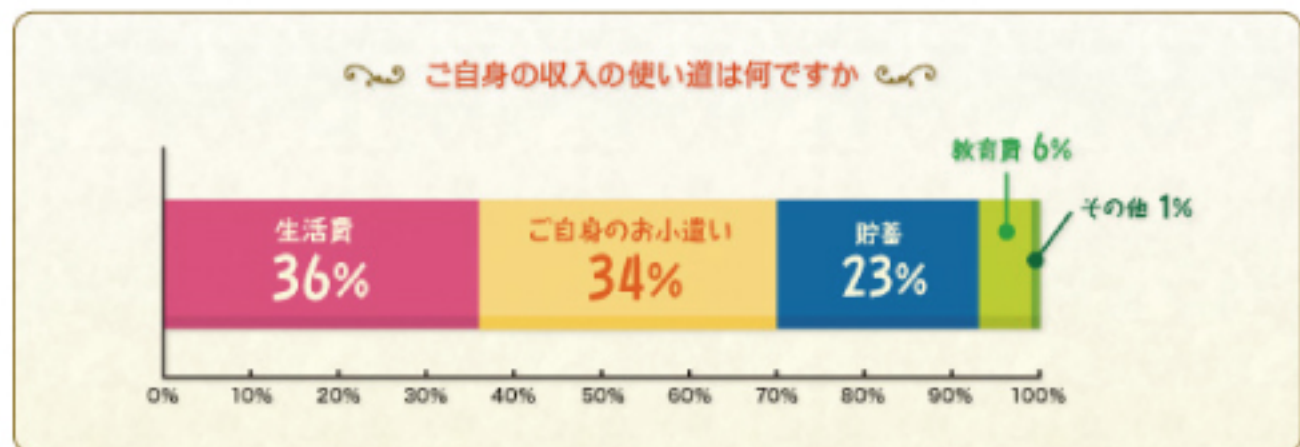
中でも大きな差が出たのは「パート・アルバイト」の割合です。

「子供あり」62%に対し「子供なし」38%という結果を見ると、お子様の存在が主婦の方々のお働き方に何らかの関係があることがうかがえます。



Q (働いている方)あなたご自身の収入の使い道について、教えてください

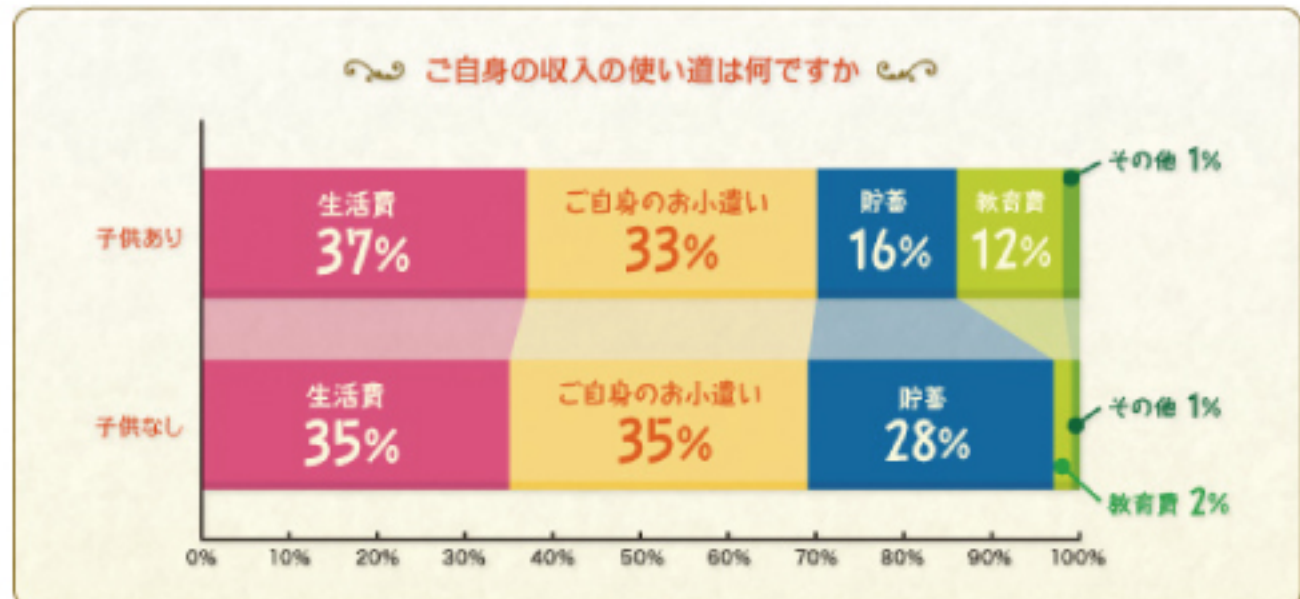
続いて、「今現在、働いている」方に、「ご自身の収入の使い道」について聞いてみたところ、次のような結果になりました。



全体として多かったのは、「生活費」36%と「ご自身のお小遣い」34%でした。また、「貯蓄」という回答も全体の約2割を占めていました。

また、こちらの結果も「子供あり」、「子供なし」で分けてみました。

すると、各項目に多きな差は見られませんが、比べてみると「子供あり」の方では「教育費」の割合が多く、「子供なし」の方では、「貯蓄」の割合が多いことがわかりました。



今回の調査は、いかがでしたか。

今回は、働いている主婦の方々を中心に調査をしてみました。その「働き方」や「収入の使い道」は、家族構成によって異なっていることがわかりました。

家族の生活のため、自分自身のため、家族の未来のため――。

働く理由はさまざまだと思いますが、家計のやりくりを行っている多くの主婦の方々は、ご自身の収入と、「節約術」で上手にやりくりをしているのかもしれないね。

次回は「へそくり」に関する調査結果をお届けします。お楽しみに。